



9月の児童朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

9月4日 「聞くこと」

○3択クイズ（人間の体の中で一番小さな骨はどこにある？）

耳の奥にある「あぶみ骨」が最も小さな骨です。この骨は、小さいけれど、耳から入った音の振動を脳に伝える働きをしています。さて、今日のお話は、耳と関係する「聞くこと」についてです。

「こんなお話の聞き方をしましょう」とまとめた「きこうよ あいうえお」を教室の前に張ってあると思います。「きこうよ あいうえお」の

「あ」は 相手を見て 「い」は いいしせいで 「う」は うなずきながら

「え」は えがおで 「お」は おわりまできこうよ です。

聞くことは、太陽とひまわりの関係と同じと思っています。話す人が太陽、聞く人がひまわりです。ひまわりは、いつも太陽の方を向いています。そして、太陽の光をいっぱい浴びてぐんぐん成長します。話を聞くとき、皆さんも、ひまわりのように先生や友達の方を向いて聞いてください。そして、先生の話や友達の発表や意見をしっかり聞いて、しっかり考えて、大きく大きく成長してください。

また、聞く人が、「うなずきながら聞くこと」、「笑顔で聞くこと」、「話が終わるまで聞くこと」は、とても大事なことです。話す人にとっては、うなずきながら聞いてくれる、笑顔で聞いてくれる、話が終わるまで聞いてくれる と安心して話すことができます。

これは、人を大切にすること、そして、「自分もにこにこ みんなもにこにこ」にもつながります。

2学期、「きこうよ あいうえお」を参考に、学級で、しっかり聞くことに取り組んでみてください。

9月25日 「中秋の名月」

9月29日は、中秋の名月です。お月見をするのにふさわしい日とされています。

「中秋の名月」、「お月見」と聞くと、この童謡を思い出します。聞いたことがある人も、多くいるのではないのでしょうか。（歌詞）

○3択クイズ（この歌の題名は、何？）

正解は、ウサギです。月とウサギには、いろいろな言い伝えや昔話が残っています。有名なのは、「ウサギが月で餅つきをしている」という言い伝えでしょうか。

月を見上げてみると、なんとなく、月の模様が、餅つきをしている風にも見えます。

（月の写真）色の濃い部分が、なんとなく、ウサギに見えませんか。

（ウサギのイラスト）イラストと見比べてみると、より、そう見えてくると思います。

実は、この黒い部分は月の「海」と言われる部分です。でも、地球のように水はなく、火山の噴火で出たマグマが、低い場所で冷えて固まったものだそうです。

ところで、今、この月を巡って、ある計画が進行中です。それは、アルテミス計画と呼ばれるものです。人を月に送り、着陸させようというもので、将来的に、月に人が住める基地を造ろうとするものです。この計画には、アメリカを中心に、日本を含む8カ国が参加しています。

日本のJAXAとトヨタは共同で、月面で活動するための車、「ルナクルーザー」を開発中です。

近い将来、日本人飛行士が月の上を歩いたり、ルナクルーザーに乗って活動したりする時がやってくるでしょうね。

また、最終的には、地球の隣の星、まだ、誰も行ったことがない、火星に人を運ぼうとしています。

今まで夢のように思っていたことが現実になる。研究者の人たちが、かなうことを信じて、あきらめず、くじけず、チャレンジを続けてきたことが、実現につながろうとしています。

みなさんも、一人一人、夢を持っていると思います。夢の実現をめざし、あきらめず、今できることを続けてみてください。